

2 各部の基本納まり図

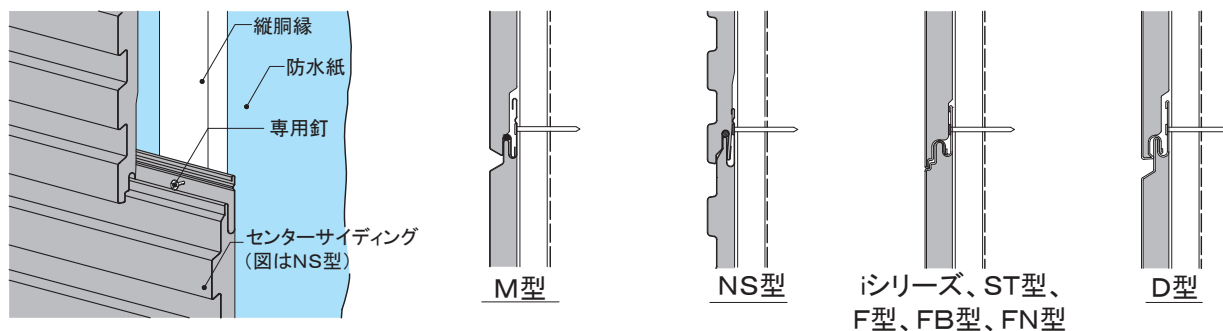
2-2 上下接合部

1) 基本納まり

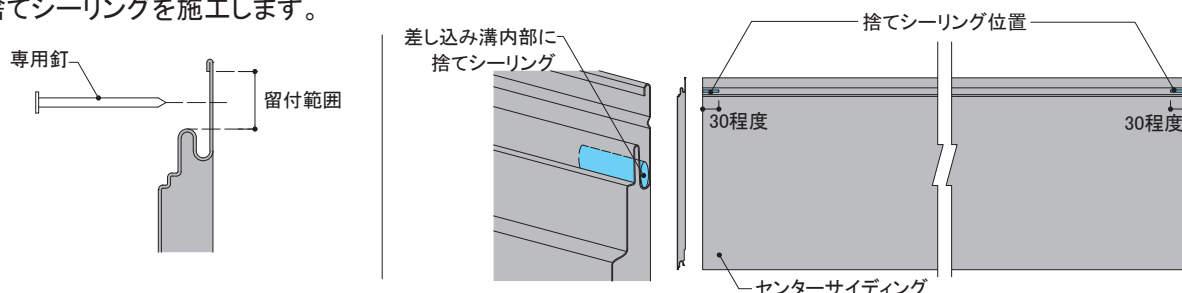
横張り施工は本体実による嵌合、縦張り施工は水切仕様が標準です。

① 横張りの場合

- センターサイディングは水平に十分留意し、実を確実に嵌合させ、木下地の場合は専用釘(φ2.5mm×43mm)で、鉄骨下地の場合は専用ビス(P35)で胴縁に留め付けます。

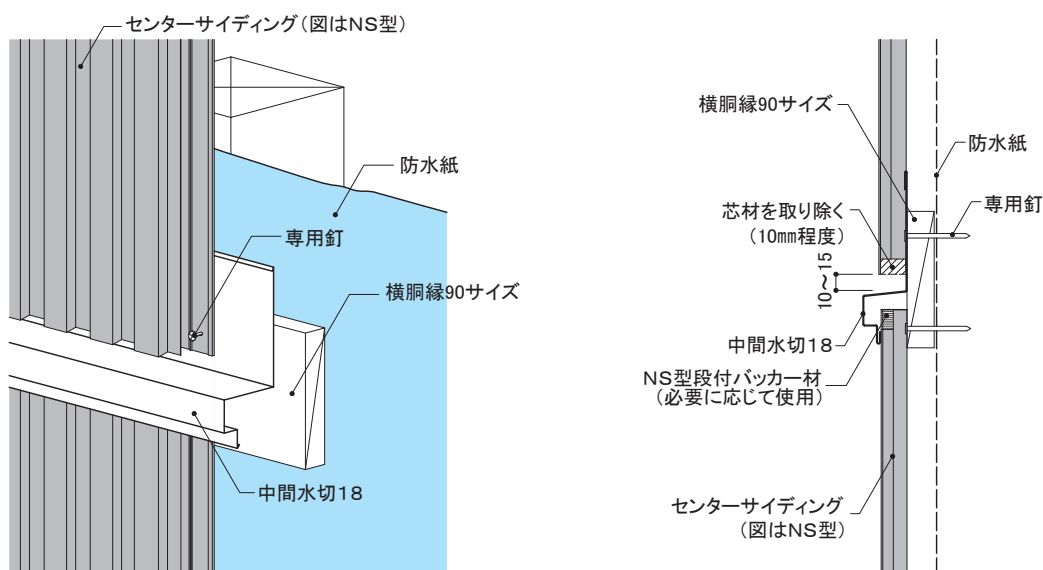


- 専用釘、専用ビスの留付位置は下図となります。
- センターサイディングの雨水の横走りを防止するため、下図のように本体左右端部の差し込み溝内部に捨てシーリングを施工します。



② 縦張りの場合

- 本体のみで施工する仕様は切断部が露出します。芯材の吸水防止のために切断部の芯材を10mm程度取り除きます。
- 中間水切は下側のセンターサイディング施工後に取り付けます。その際、中間水切と下側のセンターサイディングとの間に10mm程度の隙間を設けて施工します。



防耐火認定が必要な場合は、基本的に端部カバーなどを使用した納まりとしてください。